

第1回安芸骨粗しょう症カンファレンス

日 時:2月5日(水)19:30~20:45

場 所:外来B棟2階 大会議室

症例検討:

1.「圧迫骨折の1例」

広島クリニック 久米健介医師

2.「左大腿骨頸部骨折術後の経過報告」

山崎病院 リハビリテーション部

3.「腰椎圧迫骨折患者の薬剤検討」

平田整形外科リハビリクリニック 平田一郎院長

4.「脊椎椎体骨折高リスク患者の骨折はMRIを撮らないとわからない」

しげのぶ整形外科リウマチ・リハビリクリニック 重信浩一院長

講演:「骨粗しょう症における最近の話題～骨粗しょう症学会報告～」

整形外科 田中部長

参加者:院外41名 院内43名 合計84名



A) 骨粗鬆症
腰椎の骨密度は、かなりの低値(重症)を示しています
B) 2つ目の椎体骨折で、骨密度もかなり低値ということだ
PTH製剤の適応もあると思います。
または、これまでのとおりに加え、
ミドカド等の活性型VdD3の追加処方はいかがうか
H27.1.15 に再診し、骨密度を測定させていただきます